再資源化②

— 地域で取り組む再資源化 —

地域で集める。

宮町北町内会

宮町北町内会　生活環境推進員
遠藤　豊和 さん

地域で取り組む資源回収

町では、「リサイクルの日」として、月に1回資源回収を行っています。回収日には、各地区で新聞紙や段ボールのほか、雑がみなどが各家庭から持ち寄られます。

宮町北町内会では、第2土曜日が資源回収日となっており、この日も多くの資源が出されていました。きれいなまちづくりを進める生活環境推進員の遠藤豊和さんは、委員になって3年目。「回収日に資源が出ていなかったことは、一度もありません」と振り返ります。

宮町北町内会の令和6年度の資源回収量は2247キログラム。町の資源回収団体報奨金制度（1kgあたり5円）により、1万1千円あまりの報奨金が交付され、町内会の地域活動にも生かされています。

一方で、分別はおおむね守られているものの、「せとものの」など、普段あまり出ないごみが正しく分別されていないこともあります。「そのままにせず、私が持ち帰って分別し、次の回収日に出したこともありました」と話す遠藤さん。「ルールを守らずに出すことは、不法投棄と同じ。ごみは、自分の手から離れても、関係がなくなるわけではありません」と遠藤さんは話し、推進員としての責任感と思いが伺えました。

今後については、「ごみ置き場に、資源回収を分かりやすく伝える看板があると、さらに分別が進むのでは」と期待を寄せていました。

地域で声を掛け合いながら取り組む資源回収。一人ひとりの意識が、環境と地域を支えています。

▲第2土曜日の回収日には、毎回多くの資源が集まる

資源回収のメリットは？

町の資源回収品目である紙類（新聞・雑誌・段ボール・牛乳パックなど）・アルミ缶・ビン類を適切に分別・回収した町内会等に対し、「資源回収団体報奨金」として1kgあたり5円が還元されています。

令和6年度資源回収実績　146トン

もし、ごみとして処分していたら、

処分費 -190万円

※100gあたり1.3円で算出

+73万円

R6資源回収団体報奨金 実績

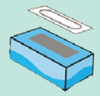
その差、なんと263万円！

ごみ・資源の回収ルール

～出し方を間違えやすいもの～

回収ルールは、「家庭ごみの分け方・出し方ハンドブック」から確認できます。

紙類以外は取り除く



ティッシュ箱の取出口のポリエチレン、封筒のビニールなど紙以外のもの（金具・ビニール・プラスチック等）は必ず取り除いてください。

アルミ缶は資源専用袋等に入れて出す

アルミ缶はつぶして、資源専用袋等に入れて出してください。

雨・雪の日は古紙類NG

雨・雪の日は、新聞紙や雑誌、段ボールなどの紙類は出さないようにしましょう。（濡れてリサイクルできなくなるため）

再資源化③

— 個人で取り組む再資源化 —

生ごみを生かす。

後藤 與志男（よしお） さん

暮らしの中で循環を楽しむ

町では、生ごみの減量と資源化を進めるため、コンポストの導入を支援しています。今年7月に補助金制度を活用してコンポストを導入した後藤與志男さんの取り組みを紹介します。

後藤さんは、コンポストの存在は以前から知っていたものの、「始めるきっかけがなかった」といいます。町の補助金制度を知ったことが導入の後押しになりました。

導入前は、生ごみを可燃ごみに出したり、畑の一角に集めたりしていました。その影響で、イノシシなどの野生動物が生ごみを求めて頻繁に出没していたそうです。コンポストを使い始めてからは、においが抑えられ、野生動物の出没が減りました。

「生ごみの処理方法を変えただけで、暮らしの困りごとが一つ減りました」と振り返ります。

現在は2人家族。生ごみはバケツにため、3～4日ごとにコンポストに入れています。投入後には米ぬかを加え、たい肥化を進めています。たい肥はまだ完成していませんが、春には、なすやキュウリなどの家庭菜園に使う予定です。肥料として畑にまくのを楽しみにしています。

「ごみを減らすだけでなく、野菜を作り、食べ、その残りがまた肥料になる。無駄なく、自宅の中で循環していく暮らしを楽しんでいます。手間もほとんどかかりません」と、後藤さんはコンポストを取り入れた生活について、そう話します。

ごみの減量や野生動物対策など、家庭ごとに課題はさまざまです。コンポストは、そうした課題に応じて取り入れることができる、生ごみ資源化の手法の一つです。

▲3～4日分の生ごみをコンポストに入れる

▲春には完成した、たい肥を畑にまく予定

▲生ごみを入れた後、米ぬかを加えてたい肥化を進めている

※コンポスト…生ごみをたい肥化するための容器。容器内の微生物の働きで生ごみを発酵させて分解する。

生ごみ処理機等購入事業補助金

対象者　国見町内に住所を有し、町税等の滞納がない方

補助対象
- 電源式生ごみ処理機
- 生ごみ堆肥化（コンポスト）容器
- 密封型（ぼかし）生ごみ処理容器
- ダンボールコンポスト等

補助率　処理機等購入金額（消費税含む）の2分の1（上限2万円）

申請の流れ

申請書提出 → 書類審査 → 交付決定 → 購入 → 請求書提出 → 口座振込

詳しくは町ホームページをご覧ください ▶

問住民防災課生活交通係　☎585-2116